

珈琲ぶれいく



富山県済生会富山病院 田近 洋介

<万年筆コレクション>

万年筆との出会い

万年筆とは、書いて字のごとく修理をすればそれこそ万年も使えるかどうかは分かりませんが、かなり長期間使うことが可能な筆記具で、ペン軸の内部に保持したインク（インキ）が毛細管現象により、溝の入ったペン芯を通じてペン先に持続的に供給されるような構造を持った携帯用筆記具の一種です。

この筆記具は、紙に字を書くことはもちろん我々の業界では細胞診の点打ちにも使用されています。私が細胞診を習い始めた頃は、机に万年筆とインク瓶がセットでおかれ、有病細胞や疑問に思う細胞に万年筆で点を打ち先生に提出、或いはディスカッションを行う時の目印として使用していました。現在ではマジックによる点打ちによってかわられ、病院などでは見かけなくなりました。



私も長い間万年筆を使うことがありませんでしたが、自分にご褒美として何かいいものを持ちたいと思い、購入したことがきっかけとなり現在では数本所有しております。その中からいくつか紹介いたします。

1. **ウオーターマン**：世界で初めて毛細管現象を利用して万年筆を誕生させたことに端を発する高級筆記具ブランド。
2. **モンブラン**：こだわりの品質・デザインのクオリティから「筆記具の最高峰」とも呼ばれる。
3. **パイロット**：創立100周年を誇る国産No.1万年筆で、日本人にも馴染むように作られている汎用～高級まで幅広い筆記具ブランド。

一度使うと抜けられなくなる万年筆。皆様も一度使ってみてはいかがでしょうか。筆記具と言えばボールペンにもいろいろありますが、それはまた別の機会に。